

女子52kg級

準決勝戦第1試合

4 近藤 優 (内股) ⊖ 3 浅海 静香
(S・T・O) (JR東日本グループ)

本大会三連覇中の近藤は初戦では本大会二つの階級で5回の優勝を誇るベテラン岡崎(まるや接骨院)に辛勝するも、2回戦を難なくさばいて準決勝戦に進出。対するは順調に勝ち上がった新人の浅海。共に女子シニア強化選手。

右組み同士、近藤は小内刈、一本背負投で攻め、浅海は小内刈、大外刈、内股、背負投等多彩な技で攻撃する。1分56秒に浅海が内股で奪った有効が、これは唯一のポイントとなつて浅海が近藤を倒す。

準決勝戦第2試合

2 小島 愛子 ⊖ (背負投) 3 東川 真梨
(自衛隊体育学校) (ヤックスケアサービス)

昨年準優勝の小島は2回戦から登場し、初戦を一本勝で制するも3回戦では武田(日本エースサポート)と延長戦旗判定の末準決勝戦に進出。片や、3回戦で女子シニア強化選手の新人森本(了徳寺学園)を降して意気上がる東川。

両者右組みから背負投等担ぎ技で攻める。両者譲らぬ攻防も4分5秒、小島が背負投の有効で勝利を手にする。

▽決勝戦

3 浅海 静香 ○ 内股 2 小島 愛子
(JR東日本グループ) (自衛隊体育学校)

両者右組み。浅海は奥襟を取って内股、払腰で攻め、小島は担ぎ技で応じる。浅海がやや攻勢に試合を進めるが、共に決め手無く引き分ける。

延長戦は小島がやや優勢に運ぶが、2分16秒浅海が組み際にごっかり掴むや否や渾身の内股を放つと、小島は大きく回って畳に落下。新人浅海、堂々の初優勝。